

保育サービスの充実を図る 仁多福祉会立 横田保育所 馬木保育所 がスタート



▲横田保育所の開所式の様子

これまで町で運営していた、横田保育所と馬木分園が、今年度から社会福祉法人「仁多福祉会」に運営を移管することになり、四月三日、両保育所で開所式と入所式が行われました。

玄関前では、開所セレモニーが行われ、岩田町長、同福祉会の六戸理事長や入所児の手によってくす玉が割られ、新たなスタートを祝いました。

六戸理事長からは「職員と保護者が力を合わせて、理想の保育に努めていきたい」と式辞がありました。

また、来賓の岩田町長から

「今後も仁多福祉会、各保育所とさらに連携を深め、子育て環境の整備に努めたい」と祝辞がありました。

少子化・子育て支援対策として修学前の保育、教育環境の充実を図ることが重要課題として町行政改革審議会から

答申を受け、新町発足以来、これまで協議が重ねられ、この度町内四保育所すべてが民営となりました。

今回の移管により、入所定員を増やしたほか、延長保育の導入、子育て支援センターの充実など保育サービスの拡充が一層図られることとなります。

第十二回島根リハビリテーション 学院入学式

四月八日、第十一回島根リハビリテーション学院の入学式がカルチャープラザ仁多で行われました。

式典には新入生、保護者、在学生など約三百五十人が出席し、下山学院長の告辞、多くの来賓を代表して岩田町長から祝辞が述べられました。

下山学院長は「人とのコミュニケーションを大切にするとともに、未知の能力を存分に引き出し、何事にも積極的に取り組んでほしい」と新

入生を激励しました。

これを受け新入生を代表して理学療法学科の田邊慶子さんから「地域に密着し、高度な知識が習得できるこの学院で学べることを誇りに思い、自分たちの目標に向かって一生懸命勉学に励みます」と誓詞がありました。

新入生五十九人（理学療法学科三十二人、作業療法学科二十七人）は、これから高度な知識と技術を学び、広く社会に貢献できる医療人になれるよう、また充実した学生生活を送れるよう決意を新たにしています。

島根デザイン専門学校 入学式

島根デザイン専門学校と併設する奥出雲工芸房でも四月八日、入学式が行われました。式では、新入生呼名、小林学校長の式辞、多くの来賓を代表して和泉副町長の祝辞などが行われました。

今年度は、全国から九人の入学生があり、長崎県出身の土屋美穂さんが「それぞれの目標に向かって制作に打ち込み、技術的にも、精神的にも成長できるよう努力していきたい」と新入生代表の宣誓を行いました。

なお、今年度からモノ制作科が新設され、専攻の枠を超えて様々な技法を学び、幅広い表現力を身に着けることのできるカリキュラムが編成されました。

ものづくりの伝統のある奥出雲の地で、創作技術と立派な人格を磨き、自分の夢に向かって日々研鑽されるよう期待しています。



▶誓いの言葉を述べる
新入生代表の田邊さん



▶呼名を受ける新入生の皆さん